



せいほうねん



青少年指導員

2019.10

No.72

編集・発行：堺市青少年指導員連絡協議会

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

(堺市子ども青少年育成部子ども育成課内)

TEL 072-228-7457 FAX 072-228-8341

Eメール: koikusei@city.sakai.lg.jp

http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/hughug/mokuteki/ouen/shien
dantai/shidojin/katsudo.html

会長挨拶

会長 山田 勝彦



堺市青少年指導員連絡協議会の会長に就任しました山田勝彦でございます。

令和へ改元のタイミングで会長という大役を務めさせていただくことになりました。

その重責を肝に銘じつつ、この度ご選出されました役員の皆様方、そして青少年指導員の皆様方のお力添え並びにご意見を頂戴しながら、微力ではございますが、当協議会の運営に尽力する所存です。

さて、近年、青少年を取り巻く環境は大変複雑化しています。特に、「人と人とのつながり」の希薄さが、青少年の健全育成を阻む大きな要因となっています。

私たちが青少年指導員としての活動する時間は、ほんの限られたわずかな時間かもしれません。しかし、私たちの活動は、地域との連携・協働を促し、地域力を高めていけるものであると考えます。そのことこそ、人と人との結びつきを作り、太くしていく活動そのものではないでしょうか。

青少年が夢と希望をもって健やかに成長できる地域社会の実現をめざし、私たち青少年指導員自身がその活動の在り方を前向きに考え、互いに繋がりあえる協議会として発展できますよう、皆様のお力をお借りできれば幸いです。

結びに、堺市青少年指導員連絡協議会の益々の発展と、青少年指導員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、就任のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いたします。

市長挨拶

堺市長 永藤 英機



本年6月に堺市長に就任しました永藤英機でございます。

青少年指導員の皆様には、青少年の健全育成をめざして、日ごろから地域における巡回活動をはじめ、成人式の運営にご協力いただくなど精力的にご活動いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

近年、社会情勢が大きく変化しており、青少年をとりまく環境も非常に厳しいものがあります。スマートフォンやSNSなどの普及により、情報のやりとりの利便性が格段に向上した反面、使い方によっては相手の気持ちを考えないで、人の心や命を傷つけたり、悪意を持ったサイトや大人に不用意に接触してしまうことで、青少年が様々な被害に合うケースも発生しています。

また、人や社会との関係を上手く築くことができない青少年が増え、人間関係でのトラブルや非行、いじめ、ひきこもりなど問題が多様化、複雑化するほか、大麻などの薬物乱用という深刻な社会問題も発生しています。

本市では、このような中、大人が子どもに関心を持ち、地域の中で青少年を見守り育てることが重要と考え、青少年健全育成施策に取り組んでいるところです。今後とも「SDGs 未来都市」として、基本理念である「誰一人取り残さない」社会をめざしてまいります。

校区で活動されている青少年指導員の皆様には、青少年健全育成の活動を通じて、青少年が「一人ではない」と実感し、夢と希望をもって成長できる地域をめざして、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願申し上げます。

総 会

令和元年6月25日(火)堺市総合福祉会館で開催した総会で、下記の活動方針が承認されました。
ご出席いただきました皆様方、誠にありがとうございました。

(参加者 150名)

令和元年度 堺市青少年指導員連絡協議会 活動方針

1. 大人が積極的に青少年と関わる地域社会の推進
大人が青少年の気持ちに寄り添い、積極的に関わることにより、青少年が常に大人に見守られていることが実感でき、大人と子どもが信頼しあえる地域社会づくりを推進します。
2. 青少年が健やかに育つ地域環境づくり
地域の関係機関・家庭・学校・行政などとの緊密な連携や、校区間の活動の情報共有を行うとともに、地域ごとの課題に的確に対応して、校区における各種活動の充実を図り、青少年が健やかに育つ地域環境づくりを進めます。
3. 青少年指導員活動のPR強化
青少年指導員活動の広報・PR活動を強化し、青少年指導員活動への理解と協力を推進します。



浅香山校区の活動 —市内合同巡回—

浅香山校区 中辻 秀和

堺市では、市内一斉の取り組みとして「市内合同巡回」を毎年8月に実施していますが、堺区では各校区においてそれぞれ適した方法で巡回しています。

北は大和川、東は阪和線、西は高野線に囲まれた浅香山校区には、繁華街や大きなショッピングセンターなどがなく、夏休みは大和川に沿って校区東の端にある浅香山公園や、西端の大和川公園で花火などをして遊ぶことが多くなっています。

巡回では、この二つの公園とその間を結ぶ川沿いにある、つつじの通り抜けで有名な遊歩道を見回ります。当日は、今池交番と堺市駅前派出所から各1名ずつ警察官の方にも参加いただき、巡回を開始しました。

昼の熱暑の名残のせいか、淀川花火大会の影響なのか、両公園には遊んでいる子どもや涼を取っている人もおらず、特に指導する事案がなく巡回を終えることができました。

夏休みは生活が乱れやすく、特に夜はいろいろな誘惑が多くなります。このような時に、今回のような巡回を繰り返すことで、子どもたちが大人たちに見守られているという安心感と見られているという緊張感を持ってもらうことができると思います。「地域の子どもは地域で守る」ということを再確認する巡回でした。



夏期ふれあいキャンプ

美原北校区 川崎 真由美

美原区では毎年夏に「自然の中での活動や仲間とのふれあいを通じて、自然に親しむ心を育てると共に豊かな人間性を身に付ける。」「青少年と地域の青少年指導員のふれあいにより信頼関係を育成、地域における青少年育成活動を円滑にかつ効果的に推進する。」を目的に、小学5年生から中学3年生を対象とした一泊二日のキャンプを実施しています。

募集は、広報さかいに掲載するとともに各学校にポスターやお知らせを配布し、公開抽選により参加者を決定しています。

毎回たくさんの応募があり、楽しいからと毎年応募してくれる子ども達も多数いてくれています。

今年も台風がきていて実施が危ぶまれていましたが、36名の子ども達と19名の指導員と共に7月27日～28日に国立淡路青少年交流の家に行き来しました。

到着後、お香づくりやビンゴ大会、夜は班対抗のゲーム大会をし、一日目を終えました。

二日目は午前中に海水浴、午後は帰路の途中で橋の科学館・舞子プロムナードを見学し、子ども達同士や指導員とふれあい交流しながら楽しい二日間を過ごし帰ってきました。

キャンプでは、学校や学年の違う子ども達で一つの班を作って行動しています。

そのことによりマナーやルールの大切さや思いやり、団体行動における自分自身の行動の責任などに気づいてもらいたいと思っています。

私は指導員になって10年あまりで、キャンプの参加も10回程度とまだまだ少ないのですが、このキャンプに参加してくれた子ども達が区民まつりや指導員が参加している行事や町中で、子ども達から声を掛けてきてくれて近況などを話してくれることがあります。そのたびにキャンプの目的とする、「指導員とのふれあいにより信頼関係を育成する」という成果が出ているのではと感じています。

美原区は校区の少ない区ではありますが、この特性を生かし、校区の垣根を越えて一丸となった体制をこれからも大切にし、指導員みんな美原区の子ども達を温かく見守り指導していきたいと思えます。



熱中症への配慮～登美丘地区 子どもスポーツ大会での取り組み

登美丘西校区 秋岡 尊生

今年も、梅雨明けとともに連日の猛暑が訪れています。

「登美丘地区子どもスポーツ大会」は、登美丘中学校区、野田中学校区の小中学校、青少年指導員の協力により、30年以上続いている行事で、男子は相撲、女子はミニバスケットボールの校区対抗戦を行っています。

本大会は例年、7月の第4日曜日に開催していますが、近年の猛暑により、子どもの健康を危惧する意見が寄せられ、昨年より検討を重ねてきました。

今年度は、大会規模を縮小、開会式・閉会式を簡素化、詳細なタイムテーブルを作成し、30分程度時間を短縮、午前中に終了させることができました。地域の方から送風機を計8台提供していただき、中学校からはミスト噴霧器を提供いただき、設置しました。体を冷ます氷水、洗い場のホースの数を増やすなどの環境面に配慮しました。万一の場合に備えて、子どもの健康状態に気を配り、水分補給や休憩を取るよう呼びかけること、教員・指導員が異変を察知した際には直ちに適切な初動対応にあたることなどを事前に申し合わせました。学校での指導について、過度な練習は行わず、受け身など怪我の防止、初心者にはルールを周知させるための練習を主眼において行うことを申し合わせ、各学校でも午前中の涼しい間に指導を行うなどの適切な対応を取っていただきました。

どれだけ対策に気を配っても熱中症の危険を完全に排除できるわけではありません。今回、青少年指導員・学校・保護者の間で広く意見交換し、危機感を共有して、少しでも安全な環境で大会が運営できるよう協力できたこと、また、競技者・応援者から体調不良者を一人もださなかったことが成果であったと考えています。

「夏休み」は、子どもが様々な貴重な体験をできる絶好の機会ですが、現状では、気象・環境・子どもの体力などさまざまな面に気を配りながら、活動の機会を守り、作っていかねばなりません。大変難しい問題ではありますが、わたしたちは、「子どもの安全を第一に。」という思いを共有し、知恵を出し合い、地域一丸となった協力体制で、より安全な活動の場を作っていかなければならないと思えます。

久世校区のボーリング大会を通した 取り組み

久世校区 氏本 一輝

久世校区青少年指導員会では、校区住民の方や地域活動に協力いただいている団体の方を対象として、毎年ボーリング大会を開催しています。今年は8月25日に行いました。

1位から3位までのトロフィーはもちろん、全員に配られる参加賞については、校区指導員が家庭にある品を持ち寄ってラッピングしています。そんな質素な大会ですが、それでも毎年50人以上の方に参加をいただいています。

ゲームが始まると、元気が有り余ってる小中学生から、昔取った杵柄とばかりに美しいフォームを披露するご年配の方まで、一投ごとに一喜一憂、ため息と歓声が場内に響き渡ります。わずか2ゲームの短い時間ですが、楽しい時間を過ごしています。

なぜ、青少年指導員が「ボーリング大会」を開催するのか？当初疑問に思っていましたが、開催を続けていくうちに、小中学生からご年配の方まで楽しめて、見守り活動をはじめとする地域活動に協力していただいている方とのコミュニケーションも取れ、なおかつ、ちょっぴり健康にも良いという、それなりに意義のある行事だと考えるようになりました。



青少年指導員として単体でやれることは限られており、地域の子どもの安全や健全育成は多くの人の協力の上に成り立ち、いくつもの共催行事で協力しあう必要があります。そんなことを再認識させてくれる行事にもなっています。

ゲームが終わって帰っていく参加者の皆さんのうしろ姿を、「明日からまた一緒に地域のために頑張りましょう」と思いながら見送り、ボーリング大会が終了しました。

津久野校区夏期合同夜間巡回の実施

津久野校区 今村 尊

津久野校区では、校区の事業計画である「安心安全のまち 津久野」「好きやねん！津久野」をモットーに、幅広い年代の人たちが地域美化活動・子どもの見守り隊に積極的に携わっています。特に、地域活動の一つ「子ども将棋クラブ」の活躍は自慢の一つです。

令和元年7月20日(土)、8月24日(土) 津久野駅東口交番前 20時より1時間30分の巡回啓発活動を行いました。総数173名が参加して校区全体を網羅するように4コースに振り分けます。1コース25名程度で、校区役員、各町役員、各種団体、幼・小・中学校の先生・保護者および子どもたちに加え、防犯委員・交通指導員の専門分野の人たちで幅広くグループを作りました。一緒に歩き話し合えるので、親睦も深めることができ、地域でのコミュニケーション活動にもつながりました。

気付いたことですが、以前より夜のまちでの子どもたちの姿が少なくなってきています。

研修会・講習会・セミナーにも参加してきて勉強していますが、青少年たちのコミュニケーションはスマホでの世界が中心になってきているようです。その良し悪しは別として、地域での取り組み方もいろいろ考えさせられます。

地域巡回にはもう一つ大切な役割があります。津久野校区では、防犯カメラの設置を通して、多様な見守る目を広げる活動を進めてきています。現在、設置台数は35台あります。巡回では設置場所の確認なども行い情報を共有します。もちろん防犯カメラの設置場所は西堺警察署にも情報提供しています。

子どもたちの安心安全にも一步一步つなげていけるように、校区内のつながりを大切に、今後とも物心両面の整備を進めていきたいと思えます。



堺市青少年指導員連絡協議会活動

堺大魚夜市

令和元年7月31日(水)、堺大魚夜市で夜間巡回を行いました。

当日は、たいへん蒸し暑い中、堺市内全域から137名の青少年指導員の皆さんの参加があり、例年通り協議会のブースを設けての巡回活動と7月の「少年非行・被害防止強調月間」に合わせた啓発活動を行い、JKビジネスや大阪府の薬物乱用防止に関する啓発チラシを配布しました。

参加された皆様、おつかれさまでした。



情報コーナー

★ SDGs未来都市について

堺市は平成30年6月に、国から「SDGs未来都市」に選定されました。SDGs（エスディーゼーズ）とは、貧困や不平等・格差、気候変動、資源の枯渇、自然破壊などのさまざまな問題を根本的に解決し、私たちの世界をよりよくすることをめざす、世界共通の17の目標です。堺市ではSDGsの基本理念である「誰一人取り残さない社会」をめざしています。

また、堺市では、SDGs達成のための重要取組の一つに「堺セーフシティ・プログラム」を位置付けています。その中で、市内コンビニエンスストア等の情報コーナー等で販売されている成人向け雑誌について、表紙の一部を覆う取り組みを行ってきました。その結果、大手コンビニで成人向け雑誌の取り扱いがなくなりつつあります。今後も、安全安心なまちづくりをより一層推進していきます。

★ 社会環境実態調査について

社会環境実態調査は、大阪府からの委託を受けて、青少年の健全な成長を阻害するおそれのある図書類の販売等の状況などについて、毎年調査しているものです。

日ごろから地域に密着して青少年の健全育成活動に従事している青少年指導員の皆さまにご協力いただいています。（一部の地域では大阪府青少年健全推進員が調査を実施）

近年の調査結果は以下のとおりです。

	調査店舗数 (単位：店舗)	区分陳列実施率 (単位：%)	掲示実施率 (単位：%)	個別包装率 (単位：%)	不適切店舗数 (単位：店舗)
平成25年度	3,188	98.8	96.0	87.8	407
平成26年度	3,676	98.9	97.0	87.8	341
平成27年度	2,906	99.1	96.8	90.3	309
平成28年度	2,886	98.7	94.8	89.7	315
平成29年度	2,766	99.1	96.5	89.5	399
平成30年度	2,775	98.6	95.5	88.2	379

(大阪府のHP：「有害図書類の区分陳列等の遵守状況調査」より抜粋)

協議会役員・事業部員紹介

協議会のさまざまな行事や企画運営を担当します。2年間よろしくお願いします。

令和元・2年度堺市青少年指導員連絡協議会役員			
会 長	山 田 勝 彦	美 原 西	美 原 区 会 長
副 会 長	澤 本 美 奈 子	深 井 西	中 区 会 長
副 会 長	藪 内 寛 之	浅 香 山	堺 区 会 長
副 会 長	小 林 孝 子	浜 寺	西 区 会 長
副 会 長	奥 田 一 彦	五 箇 荘 東	北 区 会 長
副 会 長	西 村 保 廣	御 池 台	南 区 会 長
副会長兼会計	橋 本 昌 和	日 置 荘	東 区 会 長
理 事	小 猿 克 義	榎	堺 区 副 会 長
理 事	八 木 康 行	登 美 丘 東	東 区 副 会 長
理 事	西 哲 史	平 岡	西 区 副 会 長
理 事	片 山 昌 一	新 檜 尾 台	南 区 副 会 長
理 事	二 村 厚 志	新 金 岡	北 区 副 会 長
監 事	藤 井 孝 誠	土 師	中 区 副 会 長
監 事	山 本 恵 三	八 上	美 原 区 副 会 長

令和元・2年度堺市青少年指導員連絡協議会事業部員

	研修・対策育成部		広 報 部		
部長	澤 本 美 奈 子	深 井 西	藪 内 寛 之	浅 香 山	
堺 区	崎 信 仁	錦 西	上 原 健 一	三 国 丘	
	竹 内 賢 二	英 彰	高 田 一 夫	錦	
中 区	酒 井 正 博	深 阪	守 屋 末 一	東 陶 器	
	浦 芝 義 一	八 田 荘 西	氏 本 一 輝	久 世	
東 区	松 下 光 男	日 置 荘 西	高 橋 政 光	八 下 西	
	佐 藤 淳	野 田	湊 正 人	登 美 丘 南	
西 区	下 井 治	浜 寺 昭 和	宮 本 修 司	向 丘	
	亀 井 輝 夫	浜 寺 石 津	今 村 尊	津 久 野	
南 区	門 林 俊 行	若 松 台	西 尾 信 幸	桃 山 台	
	林 賢 二	高 倉 台 西	山 中 清	福 泉 中 央	
北 区	水 野 雅 司	中 百 舌 鳥	清 水 賢 二	西 百 舌 鳥	
	堀 永 定 己	金 岡 南	上 久 保 範 彦	東 三 国 丘	
美原区	林 順 子	平 尾	上 野 忠 志	黒 山	
	川 崎 真 由 美	美 原 北	小 村 悦 子	さ つ き 野	

編 集 後 記

令和元年度より広報部長を務めることとなりました。よろしくお願いします。広報紙「せいしょうねん72号」を発刊するにあたり、公務ご多用の中ご挨拶をいただきました永藤堺市長はじめ、作成に携わっていただいた広報部員の皆さま、原稿執筆をいただきました青少年指導員の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

さて、私は、青少年指導員として、長年、校区の子どもたちの健全育成に取り組んできました。そして、今回広報部長という立場で、寄稿いただきました各校区の取り組みを自分自身の活動と重ねながら読ませていただきました。

何よりも、子どもの健全育成を核に据えた温かいぬくもりのある取り組みの数々に心が奮い立つ思いを感じました。また、山田会長が書かれている「人と人とのつながり」がこうした活動を通して築き上げられることを再確認することもできました。

私たちの活動が、点から線へ、線から面へ、面から立体へと厚みとつながりのあるものとなるよう、相互の顔の見える広報紙「せいしょうねん」の作成を意識していきたいと思っております。

青少年指導員連絡協議会広報部長 藪 内 寛 之